

## 事業評価の結果（内容評価項目）

福祉サービス種別 障がい者支援施設

事業所名 明星学園

### 第三者評価の判断基準

長野県福祉サービス第三者評価基準の考え方と評価のポイント、評価の着眼点【障がい者・児福祉サービス版】共通項目に係る判断基準による

○判断基準の「a、b、c」は、評価項目に対する到達状況を示しています。

「a」評価・・・よりよい福祉サービスの水準・状態、質の向上を目指す際に目安とする状態

「b」評価・・・aに至らない状況＝多くの施設・事業所の状態、aに向けた取組みの余地がある状態

「c」評価・・・b以上の取組みとなることを期待する状態

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
A	1 利用者の尊重と権利擁護	(1) 自己決定の尊重	① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 1 利用者の自己決定を尊重するエンパワメントの理念にもとづく個別支援を行っている。</li> <li>■ 2 利用者の主体的な活動については、利用者の意向を尊重しながら、その発展を促すように支援を行っている。</li> <li>■ 3 趣味活動、衣服、理美容や嗜好品等については、利用者の意思と希望や個性を尊重し、必要な支援を行っている。</li> <li>■ 4 生活に関わるルール等については、利用者と話し合う機会（利用者同士が話し合う機会）を設けて決定している。</li> <li>■ 5 利用者一人ひとりへの合理的配慮が、個別支援や取組をつうじて具体化されている。</li> <li>■ 6 利用者の権利について職員が検討し、理解・共有する機会が設けられている。</li> </ul>	<p>○利用者の自己決定を尊重した 個別支援と取組みについては「基本理念」「行動基準」「基本方針」がしっかり据えられていました。</p> <p>○障がいのある方、一人ひとりが自分らしく幸せに生きるため、言葉での意思伝達が困難であっても行動すべてを発信として捉える「お心主義」の信念のもと本当の気持ちを見つけようと、相談し寄り添いながら「意思決定」を支援していました。</p> <p>○個々のエンパワメントに沿った生活が提供され、日中活動では仕事として位置づけられ、日給を決め支給されています。また、作品として販売していました。得たお金は相談し各自の希望により使われていました。</p>

	<p>(2) 権利擁護</p>	<p>① 利用者の権利擁護に関する取組が徹底されている。</p>	<p>a)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 7 利用者の権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。</li> <li>■ 8 利用者の権利擁護のための具体的な取組を利用者や家族に周知している。</li> <li>■ 9 権利侵害の防止と早期発見するための具体的な取組を行っている。</li> <li>■ 10 原則禁止される身体拘束を緊急やむを得ない場合に一時的に実施する際の具体的な手続と実施方法を明確に定め、職員に徹底している。</li> <li>■ 11 所管行政への虐待の届出・報告についての手順等を明確にしている。</li> <li>■ 12 権利擁護のための取組について職員が具体的に検討する機会を定期的に設けている。</li> <li>■ 13 権利侵害が発生した場合に再発防止策等を検討し、理解のもとで実践する仕組みが明確化されている。</li> </ul>	<p>○利用者の権利侵害防止に関する取り組みについては、人権委員会が年12回（毎月第3水曜日）、虐待防止委員会は、必要に応じて会議が開かれ、質の高いサービス提供につなげることを目的として取り組んでいました。</p> <p>○会議の参加対象者は、その研修内容によって、全職員であったり、初任者、5年未満、パート、保護者と分けての参加となっていました。</p> <p>○リスクマネジメント委員会は、ヒヤリハット事例、苦情、事故報告等から、危機回避に対する検討、研修、職員への情報提供をおこない、“未然防止”や“発生時マニュアルに従った適切な対応を行う”とあります。</p> <p>○機関紙「ブリズム」にて苦情や虐待を疑わせる通報件数も公表され、職員への改善に向けた取り組みを実施している事を報告していました。</p>
<p>2 生活 支援</p>	<p>(1) 支援の基本</p>	<p>① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。</p>	<p>a)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 14 利用者の心身の状況、生活習慣や望む生活等を理解し、一人ひとりの自律・自立に配慮した個別支援を行っている。</li> <li>■ 15 利用者が自力で行う生活上の行為は見守りの姿勢を基本とし、必要な時には迅速に支援している。</li> <li>■ 16 自律・自立生活のための動機づけを行っている。</li> <li>■ 17 生活の自己管理ができるように支援している。</li> <li>■ 18 行政手続、生活関連サービス等の利用を支援している。</li> </ul>	<p>○利用者一人ひとりが持つ力を最大限発揮出来るよう、基本理念を基にケース会議で個別支援計画が作成されました。</p> <p>○一日の賃金が決まっており、毎日頑張って働いて稼いだお金は、本人の希望に沿って、自分のために、又は家族へプレゼントするために貯金したりと、利用者の方各自が使い道を相談し考えながら働く意欲につなげていました。</p>

○利用者の尊重と権利擁護は、福祉施設・事業所の使命・役割の基本であり、虐待等の権利侵害を防止することは法令で必須とされる事項です。よって、取組の重要性に鑑み、取組が十分でない場合には、「c」評価とします。

<p>② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。</p>	<p>a)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■</li> <li>■</li> <li>■</li> <li>■</li> <li>■</li> </ul>	<p>19 利用者の心身の状況に応じて、さまざまな機会や方法によりコミュニケーションがはかられている。</p> <p>20 コミュニケーションが十分ではない利用者への個別的な配慮が行われている。</p> <p>21 意思表示や伝達が困難な利用者の意思や希望をできるだけ適切に理解するための取組を行っている。</p> <p>22 利用者のコミュニケーション能力を高めるための支援を行っている。</p> <p>23 必要に応じて、コミュニケーション機器の活用や代弁者の協力を得るなどの支援や工夫を行っている。</p>	<p>○その日の勤務職員の顔ぶれや食事の写真を分かりやすく掲示するなどして、コミュニケーションをとることにより、その日一日の生活が分かりやすいように工夫していました。</p> <p>○「O×カード」を使ったり、個々の利用者の特性に応じたコミュニケーションの手段を開発したり、能力を高めるために外部講師の指導を受けています。</p>
<p>③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。</p>	<p>a)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■</li> <li>■</li> <li>■</li> <li>■</li> <li>■</li> </ul>	<p>24 利用者が職員に話したいことを話せる機会を個別に設けている。</p> <p>25 利用者の選択・決定と理解のための情報提供や説明を行っている。</p> <p>26 利用者の意思決定の支援を適切に行っている。</p> <p>27 相談内容について、サービス管理責任者等と関係職員による検討と理解・共有を行っている。</p> <p>28 相談内容をもとに、個別支援計画への反映と支援全体の調整等を行っている。</p>	<p>○利用者の意思を尊重する支援については、法人の「憲章」の中に「意志決定支援」を実践すると掲げ「行動基準」に“どんな小さな発信も受け止め対等肯定の姿勢で意志決定をサポートします”と明示されていました。また、相談のポイントや実施方法も記載されていました。</p> <p>○機関紙「プリズム」の“きらりびと”のコーナーに、利用者の方の生き生きとした写真と共に支援内容も綴られていました。</p>

<p>④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。</p>	<p>a)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 29</li> <li>■ 30</li> <li>■ 31</li> <li>■ 32</li> <li>■ 33</li> <li>■ 34</li> </ul>	<p>29 個別支援計画にもとづき利用者の希望やニーズにより選択できる日中活動（支援・メニュー等）の多様化をはかっている。</p> <p>30 利用者の状況に応じて活動やプログラム等へ参加するための支援を行っている。</p> <p>31 利用者の意向にもとづく余暇やレクリエーションが適切に提供されている。</p> <p>32 文化的な生活、レクリエーション、余暇及びスポーツに関する情報提供を行っている。</p> <p>33 地域のさまざまな日中活動の情報提供と必要に応じた利用支援を行っている。</p> <p>34 個別支援計画の見直し等とあわせて日中活動と支援内容等の検討・見直しを行っている。</p>	<p>○日中活動として、アクリルたわし作り、ヒノキの入浴剤、クッションやヘアアクセサリーなどの生産品を作成し外部販売しています。また、空き缶つぶしなどの軽作業やアート活動、アロマセラピー、音楽療法、ドライブなどの様々な選択肢が用意されていました。</p> <p>○利用者が提案した地域のイベント参加（わくわくハピネス）やレクリエーション、スポーツなども今は残念ながらコロナ禍の為に自粛されていますが、また落ち着きましたら再開されることを望みます。</p>
<p>⑤ 利用者の障がいの状況に応じた適切な支援を行っている。</p>	<p>a)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 35</li> <li>■ 36</li> <li>■ 37</li> <li>■ 38</li> <li>■ 39</li> </ul>	<p>35 職員は障がいに関する専門知識の習得と支援の向上をはかっている。</p> <p>36 利用者の障がいによる行動や生活の状況などを把握し、職員間で支援方法等の検討と理解・共有を行っている。</p> <p>37 利用者の不適応行動などの行動障がいに個別的かつ適切な対応を行っている。</p> <p>38 行動障がいなど個別的な配慮が必要な利用者の支援記録等にもとづき、支援方法の検討・見直しや環境整備等を行っている。</p> <p>39 利用者の障がいの状況に応じて利用者間の関係の調整等を必要に応じて行っている。</p>	<p>○定期的な職員会議に加え、療育研究会が年数回開催され、外部講師を招いて専門的な勉強をする機会が設けられています。</p> <p>○「クラスのきまり」があり、職員の資質向上と支援内容に完全を期するため、厳守を促していました。</p> <p>○ケース会議、クラス会議では、真剣な態度で研究討議し、職員の問題意識と責任感を旺盛にし、支援内容の充実を図り、その問題点を解決しなければならないと、記載がありました。</p>

		(2) 日常的な生活支援	① 個別支援計画にもとづく日常的生活支援を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 40</li> <li>■ 41</li> <li>■ 42</li> <li>■ 43</li> <li>■ 44</li> </ul>	<p>40 食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本としておいしく、楽しく食べられるように工夫されている。</p> <p>41 利用者の心身の状況に応じて食事の提供と支援等を行っている。</p> <p>42 利用者の心身の状況に応じて入浴支援や清拭等を行っている。</p> <p>43 利用者の心身の状況に応じて排せつ支援を行っている。</p> <p>44 利用者の心身の状況に応じて移動・移乗支援を行っている。</p>	<p>○管理栄養士が配置され、「○○が美味しかった」という声を聞いて利用者の嗜好を把握するよう努めていました。</p> <p>○毎食ごとにできあがった食事の写真を配膳前に掲示し、苦手な食材がある時には、あらかじめ利用者と支援員で話をして、ストックしている代替品とチェンジしていました。</p> <p>○年齢的に咀嚼や入れ歯などで噛みにくいか、飲み込む力が弱いとか、個々の状況に応じて切り方を変えたり、とろみをつける等の工夫して提供されていました。</p>
A	2	(3) 生活環境	① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 45</li> <li>■ 46</li> <li>■ 47</li> <li>■ 48</li> <li>■ 49</li> </ul>	<p>45 利用者の居室や日中活動の場等は、安心・安全に配慮されている。</p> <p>46 居室、食堂、浴室、トイレ等は、清潔、適温と明るい雰囲気を保っている。</p> <p>47 利用者が思い思いに過ごせるよう、また安眠（休息）できるよう生活環境の工夫を行っている。</p> <p>48 他の利用者に影響を及ぼすような場合、一時的に他の部屋を使用するなどの対応と支援を行っている。</p> <p>49 生活環境について、利用者の意向等を把握する取組と改善の工夫を行っている。</p>	<p>○居室のリフォームをするなど、心地良い生活空間を整えていこうとする工夫がされていました。</p> <p>○ソファが置かれたり、テレビを観てくつろぐ場があったり、また、一人用の机で自由に絵を描いている方もいました。また、くつろぐ場所、食事をする部屋が分けられていて、はじめがつきやすく利用者の方にわかりやすくなっていました。</p> <p>○個室が多く用意されており、希望する方には鍵をかけたり、冷蔵庫も置くことができ、集団生活の中でもプライバシーが守られていました。</p>

<p>(4) 機能訓練・生活訓練</p>	<p>① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。</p>	<p>a)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 50 生活動作や行動のなかで、意図的な機能訓練・生活訓練や支援を行っている。</li> <li>■ 51 利用者が主体的に機能訓練・生活訓練を行えるよう工夫している。</li> <li>■ 52 利用者の障がいの状況に応じて専門職の助言・指導のもとに機能訓練・生活訓練を行っている。</li> <li>■ 53 利用者一人ひとりの計画を定め、関係職種が連携して機能訓練・生活訓練を行っている。</li> <li>■ 54 定期的にモニタリングを行い、機能訓練・生活訓練計画や支援の検討・見直しを行っている。</li> </ul>	<p>○心身機能の変化に伴い、主に食事場面において、より良い食生活や食環境を構築するため言語聴覚士は、利用者全員を対象として、月2回巡回指導を行っていました。</p> <p>○各クラスにて、課題が生じたメンバーを把握し、第3月曜日は、フォローアップ指導を今年度から定例化しておこなっていました。</p> <p>○理学療法については、必要に応じて理学療法士に巡回指導して頂き、その内容をビデオ、写真等で記録し、統一した支援となる取組となっていました。</p>
<p>(5) 健康管理・医療的な支援</p>	<p>① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。</p>	<p>a)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 55 入浴、排せつなどの支援のさまざまな場面をつうじて、利用者の健康状態の把握に努めている。</li> <li>■ 56 医師又は看護師等による健康相談や健康面での説明の機会を定期的に設けている。</li> <li>■ 57 利用者の障がいの状況にあわせた健康の維持・増進のための工夫を行っている。</li> <li>■ 58 利用者の体調変化等における迅速な対応のための手順、医師・医療機関との連携・対応を適切に行っている。</li> <li>■ 59 障がい者・児の健康管理等について、職員研修や職員の個別指導等を定期的に行っている。</li> </ul>	<p>○毎日の視診で、利用者の方の顔つき、色つや、機嫌の良し悪し等に注意し体調の確認が行われていました。</p> <p>○てんかんのメンバーについては、てんかん薬の定期服用を視診し、発作時の処置についても文章化され、その処置について周知するようにしていました。</p> <p>○健康診断は年1回行われ、さらに、通院している医師の指示に従い診察を受けるシステムとなっていました。</p>

	<p>② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。</p>	<p>a)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 60 医療的な支援の実施についての考え方（方針）と管理者の責任が明確であり、実施手順や個別の計画が策定されている。</li> <li>■ 61 服薬等の管理（内服薬・外用薬等の扱い）を適切かつ確実に行っている。</li> <li>■ 62 慢性疾患やアレルギー疾患等のある利用者については、医師の指示にもとづく適切な支援や対応を行っている。</li> <li>■ 63 介護職員等が実施する医療的ケアは、医師の指示にもとづく適切かつ安全な方法により行っている。</li> <li>■ 64 医師や看護師の指導・助言のもと、安全管理体制が構築されている。</li> <li>■ 65 医療的な支援に関する職員研修や職員の個別指導等を定期的に行っている。</li> </ul>	<p>○”障害のある方が、そのライフサイクルの中で健康で生き生きとした人生を過ごすには、医療との連携が欠かせない”と、利用者の方の健康状態を把握し、健康管理の為年間を通し、定期検診等、実施計画されていました。また、健康状況の動向についても理事会・評議員会で報告がされていました。</p> <p>○次年度に向けての健康管理について、目標も挙げられていました。</p> <p>○薬は看護師が管理しているが、投薬については当日の支援員が行うので、責任を持って誤飲のないよう万全を尽くしていただきたいと思います。</p>
<p>(6) 社会参加、学習支援</p>	<p>① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。</p>	<p>a)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 66 利用者の希望と意向を把握し、社会参加に資する情報や学習・体験の機会を提供する等、社会参加への支援を行っている。</li> <li>■ 67 利用者の外出・外泊や友人との交流等について、利用者を尊重して柔軟な対応や支援を行っている。</li> <li>■ 68 利用者や家族等の希望と意向を尊重して学習支援を行っている。</li> <li>■ 69 利用者の社会参加や学習の意欲を高めるための支援と工夫を行っている。</li> </ul>	<p>○コロナ禍にて、思うような交流や活動が出来ず、家族会も中止になってしまったが、通信「明星」にて学園の近況報告がされていました。</p> <p>○新たなグループホーム建設の件や、職員のクラス異動、出産でお休みになる支援員もいる事を利用者の方に伝え、各々の思いに寄り添って、手紙を書いたり、個別にお別れ会をした事などを報告していました。</p>

<p>(7) 地域生活への移行と地域生活の支援</p>	<p>① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。</p>	<p>a)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 70 利用者の希望と意向を把握し、地域生活に必要な社会資源に関する情報や学習・体験の機会を提供している。</li> <li>■ 71 利用者の社会生活力と地域生活への移行や地域生活の意欲を高める支援や工夫を行っている。</li> <li>■ 72 地域生活への移行や地域生活について、利用者の意思や希望が尊重されている。</li> <li>■ 73 地域生活への移行や地域生活に関する課題等を把握し、具体的な生活環境への配慮や支援を行っている。</li> <li>■ 74 地域生活への移行や地域生活のための支援について、地域の関係機関等と連携・協力している。</li> </ul>	<p>○コロナ禍で、地域活動は困難な状況ではあるが、ささえ、ささえられながら地域とともにある施設として、今までに行ってきた運動会”明星きらめき祭”を今後また再開出来ることを望みます。</p> <p>○今年度新たにグループホーム「ヴィラそよ風」の建設工事が始められています。地域でグループホームの利用を希望される方や本園から地域移行の希望を受け入れ、地域での生活が実施されることになっていました。</p>
<p>(8) 家族等との連携・交流と家族支援</p>	<p>① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。</p>	<p>a)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 75 家族等との連携・交流にあたっては、利用者の意向を尊重して対応を行っている。</li> <li>■ 76 利用者の生活状況等について、定期的に家族等への報告を行っている。</li> <li>■ 77 利用者の生活や支援について、家族等と意見交換する機会を設けている。</li> <li>■ 78 利用者の生活や支援に関する家族等からの相談に応じ、必要に応じて助言等の家族支援を行っている。</li> <li>■ 79 利用者の体調不良や急変時の家族等への報告・連絡ルールが明確にされ適切に行われている。</li> <li>■ 80 利用者の生活と支援に関する家族等との連携や家族支援についての工夫を行っている。</li> </ul>	<p>○コロナ禍の為、外食、買い物、ボーリングなどのレジャーの希望が思うように実施できない現状がありますが、保護者会館の量の間を工夫し旅館のようにあしらい、旅行気分を味わって食事をしたり、敷地内でBBQや行楽弁当を食べ、遠足気分を季節感を楽しめるよう支援されていました。</p> <p>○今後もまた以前のように、家族の方も一緒に交流できる日が来ることを望みます。</p>

<p>3 発達支援</p>	<p>(1) 発達支援</p>	<p>① 子どもの障がいの状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。</p>	<p>a)</p>	<p><input type="checkbox"/></p>	<p>81 子どもの発達過程や適応行動の状況等を踏まえた発達支援（個別支援）を行っている。</p>	<p>対象外</p>
			<p>b)</p>	<p><input type="checkbox"/></p>	<p>82 子どもの発達に応じて必要となる基本的日常動作や自立生活を支援するための活動や取組について、個別活動と集団活動を組み合わせながら実施している。</p>	
			<p>c)</p>	<p><input type="checkbox"/></p>	<p>83 子どもの活動プログラムについてはチームで作成するとともに、子どもの状況に応じた工夫や見直しを行っている。</p>	
				<p><input type="checkbox"/></p>	<p>84 子どもと保護者に対し、学校及び保育所や認定こども園、児童発達支援事業所等との情報共有、連携・調整をはかっている。</p>	
<p>4 就労支援</p>	<p>(1) 就労支援</p>	<p>① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。</p>	<p>a)</p>	<p><input type="checkbox"/></p>	<p>85 利用者一人ひとりの働く力や可能性を引き出すような取組や工夫を行っている。</p>	<p>対象外</p>
			<p>b)</p>	<p><input type="checkbox"/></p>	<p>86 利用者一人ひとりの障がいに応じた就労支援を行っている。</p>	
			<p>c)</p>	<p><input type="checkbox"/></p>	<p>87 利用者の意向や障がいの状況にあわせて、働くために必要なマナー、知識・技術の習得や能力の向上を支援している。</p>	
				<p><input type="checkbox"/></p>	<p>88 働く意欲の維持・向上のための支援を行っている。</p>	
				<p><input type="checkbox"/></p>	<p>89 仕事や支援の内容について、利用者への定期的な報告と話し合いを行っている。</p>	
				<p><input type="checkbox"/></p>	<p>90 地域の企業、関係機関、家族等との連携・協力のもとに就労支援を行っている。</p>	

		<p>② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。</p>	<p>a) <input type="checkbox"/></p> <p>b) <input type="checkbox"/></p> <p>c) <input type="checkbox"/></p>	<p>91 利用者の意向や障がいの状況に応じた仕事時間、内容・工程等となっている。</p> <p>92 利用者が選択できるよう、多様な仕事の内容・工程等を提供するための工夫を行っている。</p> <p>93 仕事の内容・工程等の計画は、利用者で作成するよう努めている。</p> <p>94 賃金（工賃）等を利用者にわかりやすく説明し、同意を得たうえで適切に支払われている。</p> <p>95 賃金（工賃）を引き上げるための取組や工夫を行っている。</p> <p>96 労働安全衛生に関する配慮を適切に行っている。</p>	<p>対象外</p>
		<p>③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。</p>	<p>a) <input type="checkbox"/></p> <p>b) <input type="checkbox"/></p> <p>c) <input type="checkbox"/></p>	<p>97 職場や受注先の開拓等により仕事の機会の拡大（職場開拓）に努めている。</p> <p>98 障害者就業・生活支援センターやハローワーク等との連携を定期的かつ適切に行っている。</p> <p>99 利用者の障がいの状況や働く力にあわせて、利用者と企業とのマッチングなどの就職支援を適切に行っている。</p> <p>100 就労後の利用者と職場との関係づくりなど、職場定着等の支援を必要に応じて行っている。</p> <p>101 利用者や地域の障がい者が離職した場合などの受入や支援を行っている。</p> <p>102 地域の企業等との関係性の構築や障がい者が働く場における「合理的配慮」を促進する取組・働きかけを行っている。</p>	<p>対象外</p>